

IT日和

イラスト 山本コウカ

vol.13 不勉強



App Store アプリ のお知らせ

アプリをダウンロードすると iPad, iPhone, iPod Touch といった iOS 端末から読むことができます!



会誌「情報処理」



デジタル
プラクティス

アプリのダウンロード
はこちら (無料)

デジタル
会誌「情報処理」プラクティス



情報処理学会 会員募集中!!

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます



詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.57 No.8 (Aug. 2016)



【特集：組み込みシステム工学】

- 特集「組み込みシステム工学」の編集にあたって 早川栄一
- FPGA NIC 向けノンパラメトリックオンライン外れ値検出機構 林 愛美 他
- 回路分割機能付き Java 言語ベース高位合成ツールにおける回路検証機構 松田和也 他
- Event-B を使った時間依存性のあるシステムのモデル化と動作分析のケーススタディ 來間啓伸 他
- Reservation-Based Scheduling for Automotive DSMS under High Overload Condition Jaeyong Rho 他
- 組み込み制御ソフトウェア開発のための Simulink モデルから UML モデルへの変換ツール 横山孝典 他
- 命令セットシミュレータ生成フレームワークの設計と実装 奥田勝己 他
- メモリ保護機能を持つ AUTOSAR OS に対するテスト 鳴原一人 他
- アスペクト指向プログラミングによるリアルタイム OS スケジューラのカスタマイズ 原田祐輔 他
- GNSS を用いた時刻同期機能を有するリアルタイム OS 横山孝典 他
- スマートフォンを照度センサとして用いる知的照明システム 桑島 奨 他
- 多様なデータ構造を有する Key-Value Store アプライアンスの設計 徳差雄太 他

【一般論文】

- 有限射影幾何を用いたソフトウェアテスト向けの直交表自動生成プログラムの開発とその応用 五味 弘 他
- シミュレーションによる緩和除数方式の偏りの比較 ハンスックウォラパーニット スマッチャヤー 他
- Named Data Networking におけるユーザへの影響を考慮した Interest Flooding Attack 対策手法* 梅田沙也華 他
- 携帯電話の基地局通信履歴と地理情報を用いたパーソナルリッブ推定法の提案* 山田遊馬 他
- 心拍変動を用いた認知能力変化の推定* 角田啓介 他
- 負の相関ルール集合の極小生成子に基づく圧縮表現† 岩沼宏治 他
- 語の出現と意味の対応の階層ベイズモデルによる教師なし語義曖昧性解消 谷垣宏一 他
- 臨書初級者のための文字バランス学習支援システムの設計と実装* 竹川佳成 他
- フレーズ間類似度に基づく楽曲構造提示機能をもつ暗譜支援システム 伊藤悠真 他
- 消費者の O2O (Online to Offline) 行動の差異に基づいた消費者特性の分析と実店舗への誘導への示唆 渡部和雄 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト (Aug. 2016)

【Transactions on System LSI Design Methodology Vol.9】

- Accurate Cloning of the Memory Access Behavior Amro Awad 他
- Unified HW/SW Co-Verification Methodology for High Throughput Wireless Communication System Nana Sutisna 他
- Size Optimization Technique for Logic Circuits that Considers BTI and Process Variations Michitarou Yabuuchi 他
- A counter-based read circuit tolerant to process variation for 0.4-V operating STT-MRAM Yohei Umeki 他



【Transactions on Bioinformatics Vol.9】

- Survival Ensemble with Sparse Random Projections For Censored Clinical and Gene Expression Data Lifeng Zhou 他



【論文誌 コンピューティングシステム Vol.9 No.3】

- 共役勾配法への種々の通信削減手法の適用と評価 熊谷洋佑 他



【論文誌 数理モデル化と応用 Vol.9 No.2】

- Performance Evaluation of Golub-Kahan-Lanczos Algorithm with Reorthogonalization by Classical Gram-Schmidt Algorithm and OpenMP Masami Takata 他

- ネットワークトポロジー設計のためのパラメトリックな全域木生成 大家万明 他
- AND 合流ゲートウェイと連結するアクティビティの平均潜在待ち時間とサービス時間の推定法の検証 野ヶ山尊秀 他
- 近代書籍を対象とした多フォント漢字認識 栗津妙華 他
- The Bitcoin Network as Platform for Trans-Organizational Attribute Authentication Cruz Jason Paul 他
- A Semi-Supervised Data Screening for Network Traffic Data using Graph Min-Cuts Takayoshi Shoudai 他



【論文誌 デジタルコンテンツ Vol.4 No.2】

- 凹凸情報をもつ写真をキャンバスとした立体スケッチシステム 友広歩李 他
- 人型入力デバイスを利用した災害救護のための個別学習支援システム 加藤隆雅 他
- 視触覚融合コンテンツにおける複数の視覚刺激と振動刺激によるクロスモーダル知覚に関する検討 新島有信 他
- 個人認証を目的とした視線の軌跡情報からの特徴抽出 向井寛人 他
- 映像の類似性を利用したワイヤレスマルチビュービデオストリーミング 小寺志保 他



会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、6月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「デジタル時代の子どもの創造的な学びの場をつくる」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■教育に対する考え方が異なる。(吉田泰光)

■短いせいもあるのかもしれないが、何を言いたいのが分からないことがあるので、もう少しコラムの量を多くしてはどうか。(後藤祐一)

特別解説「速報 AlphaGo の勝利」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■AlphaGo がなぜすごいか、課題が何か（なぜその手を選んだかを説明できない）ということは、報道だけでは知ることのできない記事でした。(山田菊子)

■Web 上のニュースは読んでるので、それ以上の情報・解説、それ以外の切り口での記事で価値を出してほしい。(匿名希望)

特集「音楽を軸に広がる情報科学」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■記事件数が多い、記事1件の分量が少なすぎると感じました。(匿名希望)

■音楽について取り上げることで、今話題の脳科学と機械学習を説明できていて良かったと思います。(長山知由理)

■音楽を軸にしてさまざまな研究がなされているのが分かった。一方で、音楽の知見を問題解決手法として利用している研究についての話があるとより面白かったのではないかと思う。(匿名希望)

■1つ1つの記事の分量が少ないため、情報量に乏しく、深掘りされていないため、物足りなさが残りました。(匿名希望)

■各原稿のタイトルからは予想できないような内容が書かれていることもあり、もう少し内容を反映させたタイトルを付けてほしい。(匿名希望)

■音楽を科学することを以前より身近に感じることができるようになりました。今回のような、情報科学との結びつきに少し意外性を感じるテーマを今後も期待しております。(匿名希望)

■音楽を軸にさまざまな角度からアプローチした特集記事を読めるのは、情報処理学会誌だからだと思います。これから

も身近なテーマを軸にした特集記事を拝見できたら、と思っています。(匿名希望)

■1本1本の長さがそれほど長くなく、難易度的にも非専門家にも適切で、読みやすく感じた。(匿名希望)

■1つのテーマに対し、たくさんの切り口から解説されていてとても読みごたえがありました。(匿名希望)

「2. 音楽と言語」

■音楽理論用語(?)がピンとこなくて、個人的には読みにくかった。(匿名希望)

解説「プログラミングするプログラム」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■20年前の学生時代には自動プログラミングは使い物にないと思いましたが、記事を読み、確実に進歩していることに驚きました。(匿名希望)

■現在の研究レベルを知ることができた。(吉田泰光)

■ぜひ特集で読みたいと思いました。(匿名希望)

シニアコラム「IT好き放題：Minsky 追悼を機に AI 研究を再考する」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ご意見に首肯するものではないですが、深層学習ブームにあえて一石を投げられたその姿勢が良かったと思います。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：教育改革は大人の責任!？」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■「もちろん、講義で行われてきた知識伝達の部分を蔑ろにして、協働的な学習活動にばかり注力したのでは知識修得がおぼつかなくなる」の一文はまったくその通りだと考えます。PBL やアクティブラーニングがもてはやされていますが、この部分を意識したカリキュラムにすることが重要なのではないのでしょうか。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：デジタル教科書の過去、現在、そして明日」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■デジタル教科書についてこれまであまり良い印象を持っていなかったのですが、興味を持ってました。(匿名希望)

連載「ビブリオ・トーク: LEAN IN (リーン・イン) 女性、仕事、リーダーへの意欲」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■リーン・インは、長かったので読み終えられずにいます。TED プレゼンの紹介があったので見てみようと思います。(匿名希望)

■Lean In は、私も土木学会誌の「この本を薦めます」(2014.2)で取り上げました。研究領域に限定されない本も、読者にとっては有意義だと思います。(山田菊子)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

「ほっとタイム」

■見せ方に改善の余地があると思います。せっかくさまざまな体験を書かれているのに、表題がすべて「編集委員退任にあたって」であり、著者名も文末に小さいので、目に止まりにくいです。(山田菊子)

「連載漫画：IT 日和」

■漫画は面白くないと駄目だと思う。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■「アルゴリズムの解説」コーナーなどがあれば面白い。情報学に興味のある学生(ジュニア会員)と専門家との交流コーナー(質問や意見交換するスペース)があるといい。(ジュニア会員は電子版のみのため)時間があるときにパラパラと見ることができないので、できれば雑誌(紙ベース)で読みたい。(匿名希望/ジュニア会員)

■技術者の倫理観、あるいは、技術を利用したサービス/製品を提供する企業の経営者/投資家の倫理観に関するテーマを希望します。(匿名希望)

■レンダリング関係の特集を読みたい。(匿名希望)

■ユーザ評価に関するテーマを取り上げていただけると嬉しいです。処理時間等の物理評価、ユーザに依頼する主観評価など、うまくいった事例や失敗事例を具体的にお聞きしてみたいです。(匿名希望)

■今回は、少し全体的に内容が難しく理解するのが容易ではなかった。もうすこし用語に詳しい解説があればと思う。(澤 佳祐/ジュニア会員)

■FinTechに関する特集記事を検討してもよいのではないのでしょうか?(匿名希望)

■専門でない分野の記事があると読みにくいため、はじめに簡単にテーマ全体としての技術解説があると分かりやすいと思う。(匿名希望)

■海外の研究者を取り上げてほしい。(匿名希望)

■会誌を、持ち運べるようにコンパクトなサイズにするのはどうでしょうか。(匿名希望)

■「ビブリオ・トーク」と「会誌編集部委員会女子部」を読んでいて、情報系の女性研究者やエンジニアが、男性の多い職場でどう工夫して、どうやって乗り切ってきたのかをもう少し知れたら、と改めてと思いました。(匿名希望)

■解説系の短い記事が参考になります。(匿名希望)

■ボットなどの対話プログラミング。(匿名希望)

■装丁は雑誌を読むかどうかの最初の手がかかりなので、毎号の特集にあったものにしたほうがよい。(匿名希望)

■各研究会の発表などについての報告があるとありがたいです。(匿名希望)

■5月号掲載「重力波の初検出と情報処理技術」で、実装言語にHaskellが使われていることを読みました。Haskellの「遅延評価」は、ビッグデータの情報処理に有益であると考えており、その事例を取り上げてほしい。(吉田泰光)

【本欄担当 青木秀貴, 杉山弘晃/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部
E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IPSJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「ネットワーク科学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-H.html	10月3日(月)		
	論文誌「Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC 2016」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-T.html	10月28日(金)		
	論文誌「離散と計算の幾何・グラフ・ゲーム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-N.html	10月31日(月)		
	会誌「情報処理」58巻表紙デザイン募集 http://www.ipsj.or.jp/magazine/topics/design-boshu58.html	11月4日(金)		
	論文誌「高度化するサイバー攻撃に対応するコンピュータセキュリティ技術」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-R.html	11月25日(金)		
8月22日(月)～	第13回ネットワーク生態学シンポジウム	6月24日(金)	定員になり次第	かずさアカデミアホール(千葉県木更津市)
8月23日(火)	http://www.neteco.jp/symposium/2016/index.html			
8月22日(月)～	情報教育シンポジウム2016 (SSS2016)	5月9日(月)		グリーンピア大沼
8月24日(水)	http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2016			
8月24日(水)～	第80回モバイルコンピューティングとパーベシブシステム・	7月1日(金)	当日のみ	芝浦工業大学豊洲校舎
8月25日(木)	第17回コンシューマ・デバイス&システム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mb180cnds17.html			
8月25日(木)～	第137回情報システムと社会環境研究発表会	7月8日(金)	当日のみ	公立ほこだて未来大学
8月26日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is137.html			
8月25日(木)～	第42回組込みシステム研究発表会	7月18日(月)	当日のみ	下呂温泉水明館
8月26日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/emb42.html			
8月29日(月)～	第169回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会	7月19日(火)	HCI研究会 Web ページでご確認ください	源平荘(山口県下関市)
8月30日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci169.html			
8月30日(火)～	平成28年度電気関係学会東北支部連合大会	6月20日(月)		東北工業大学 八木山キャンパス
8月31日(水)	http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/index.html			
8月31日(水)～	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2016 (SES2016)		当日可	東洋大学
9月2日(金)	http://ses.sigse.jp/2016/		事前割引締切: 8月24日	白山キャンパス
9月1日(木)～	第94回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会	7月19日(火)	当日のみ	大阪電気通信大学 駅前キャンパス
9月2日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm94.html			
9月2日(金)	第73回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip73.html	7月15日(金)	当日のみ	新潟大学 駅南キャンパス「ときめいと」
9月5日(月)～	第203回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	7月7日(木)	当日のみ	富山大学
9月6日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim203.html			
9月5日(月)～	第163回コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学研究発表会	7月7日(木)	当日のみ	宇奈月温泉 杉乃井ホテル
9月6日(火)	www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg163.html			
9月7日(水)～	FIT2016 第15回情報科学技術フォーラム	5月23日(月)	聴講事前参加	富山大学
9月9日(金)	http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2016/		7月19日(火)	五福キャンパス
9月12日(月)～	平成28年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会	6月30日(木)		豊田工業高等専門学校(愛知県豊田市)
9月13日(火)	http://www2.iee.or.jp/~tokai/rengo2016/			
9月12日(月)～	第11回セキュリティ国際ワークショップ (IWSEC2016)			御茶ノ水ソラシティ
9月14日(水)	http://www.iwsec.org/index.html			
9月13日(火)～	平成28年度電気関係学会北陸支部連合大会	7月15日(金)		福井工業大学
9月14日(水)	http://2016.jhes.jp/			
9月13日(火)～	第9回Webとデータベースに関するフォーラム (WebDBForum2016)			慶應義塾大学 日吉キャンパス
9月15日(木)	http://db-event.jpn.org/webdbf2016/index.html			
9月13日(火)～	第163回データベースシステム・第123回情報基礎と	8月12日(金)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
9月15日(木)	アクセス技術合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dbs163ifat123.html			
9月14日(水)	第66回高度交通システムとスマートコミュニティー研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its66.html	7月13日(水)	当日のみ	日本大学 駿河台キャンパス
9月14日(水)～	第8回コラボレーション技術に関する国際会議 (CollabTech2016)			石川県政記念しいのき 迎賓館
9月16日(金)	http://www.collabtech.org/			
9月14日(水)～	DAシンポジウム2016—システムとLSIの設計技術—	7月1日(金)	8月19日(金)	山代温泉ゆのくに天祥
9月16日(金)	http://www.sig-sldm.org/das/			
9月15日(木)～	第156回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会	7月19日(火)	当日のみ	小樽経済センター
9月16日(金)	(HOKKE-23) http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc156.html			
9月16日(金)	第110回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps110.html	7月22日(金)	当日のみ	奈良女子大学
9月17日(土)	平成28年度電気関連学会四国支部連合大会 http://www.sjciee.org/	7月22日(金)		徳島大学常三島 キャンパス
9月23日(金)	第159回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al159.html	7月15日(金)	当日のみ	徳島大学
9月23日(金)～	第35回インターネットと運用技術・第20回セキュリティ	7月19日(火)	当日のみ	静岡大学浜松 キャンパス
9月24日(土)	心理学とトラスト合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot35spt20.html			
9月26日(月)	関西支部支部大会 http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaiikai_2016/index.html	6月17日(金)		大阪大学中之島センター
9月28日(水)	第47回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio47.html	8月20日(土)	当日のみ	産業技術総合研究所 臨海副都心センター

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月29日(木)	東海支部主催講演会「障害者支援と情報技術」 http://www.ipsj-tokai.jp/			大同大学 (愛知県名古屋市)
9月29日(木)～	平成28年度(第69回)電気・情報関係学会九州支部連合大会	7月13日(水)		宮崎大学 (木花キャンパス)
9月30日(金)	http://www.jceee-kyushu.jp/			
9月29日(木)～	第228回自然言語処理研究発表会	8月22日(月)	当日のみ	大阪大学吹田キャンパス 銀杏会館
9月30日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl228.html			
9月30日(金)	連続セミナー2016 第3回「スマートなヘルスケアとライフケア」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html		定員になり次第	日本大学理工学部駿河台校舎1号館/ 大阪大学中之島センター
10月1日(土)	情報処理北海道シンポジウム2016 http://hokkaido.ipsj.or.jp/info2016/	9月2日(金)		釧路公立大学
10月4日(火)～	第9回モバイルコンピューティングとユビキタスネットワークに関する国際会議(ICMU2016)			DFKIKaiserslautern, Germany
10月6日(木)	http://www.icmu.org/icmu2016/			
10月6日(木)	第214回システム・アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc214.html	8月12日(金)	当日のみ	幕張メッセ国際会議場
10月11日(火)～	コンピュータセキュリティシンポジウム2016(CSS2016)	7月19日(火)	早期割引料金は 8月26日, 通常料 金は9月16日まで	秋田キャッスルホテル
10月13日(木)	http://www.iwsec.org/css/2016/			
10月17日(月)	SOUPS2016論文読破会 http://www.sig-spt.org/			セコム(株) セコム本社
10月19日(水)～	マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS2016)	6月18日(土)		プラザホテル山麓荘 (秋田県田沢湖)
10月21日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dpsws2016.html			
10月20日(木)～	組込みシステムシンポジウム2016(ESS2016)			早稲田大学
10月22日(土)	http://www.sigemb.jp/ESS/2016/			
10月22日(土)	平成28年度(第67回)電気・情報関連学会中国支部連合大会 http://rentai-chugoku.org/index.html	8月19日(金)		広島大学工学部 東広島キャンパス
10月26日(水)～	第111回プログラミング研究発表会	8月26日(金)	当日のみ	日本アイ・ビー・エム (株)本社事業所
10月27日(木)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro110.html			
10月28日(金)	連続セミナー2016 第4回「広がりを見せるIoTの現状と今後の展望」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html		定員になり次第	日本大学理工学部駿河台校舎1号館/ 大阪大学中之島センター
11月4日(金)～	ゲームプログラミングワークショップ2016(GPW-16)			軽井沢学習研修所 (予定)
11月6日(日)	http://www.ipsj.or.jp/sig/gi/			
11月12日(土)～	エンタテインメントコンピューティングシンポジウム(EC2016)		当日可	グランフロント大阪・ 相愛大学
11月14日(月)	http://ec2016.entcomp.org/index.php			
11月15日(火)	連続セミナー2016 第5回「メディアアート」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html		定員になり次第	化学会館/ 大阪大学中之島センター
11月18日(金)～	グループウェアとネットワークサービスワークショップ	9月9日(金)		草津温泉ホテル& スバリゾート中沢 ヴィレッジ
11月19日(土)	2016(GNWS2016) http://www.ipsj.or.jp/sig/gw/gnws2016/			
11月28日(月)～	第215回システム・アーキテクチャ研究発表会	9月4日(日)	当日のみ	立命館大学大阪 らきキャンパス
11月30日(水)	(デザインガイア2016) http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc215.html			
11月28日(月)～	第177回システムとLSIの設計技術研究発表会	9月4日(日)	当日のみ	立命館大学大阪 いばらきキャンパス
11月30日(水)	(デザインガイア2016) http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm177.html			
12月1日(木)～	第9回インターネットと運用技術シンポジウム(IOTS2016)	9月7日(水)	11月24日(木)	福山大学宮地茂記念館 (広島県福山市)
12月2日(金)	http://www.iot.ipsj.or.jp/iots		定員になり次第	
12月9日(金)～	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2016」	9月8日(木)	当日可	国文学研究資料館・ 国立国語研究所
12月11日(日)	http://www.iot.ipsj.or.jp/iots			
12月22日(木)	連続セミナー2016 第6回「フィンテック～ブロックチェーンの理解と応用～」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html		定員になり次第	化学会館/ 大阪大学中之島センター
2017年				
3月16日(木)～	情報処理学会第79回全国大会			名古屋大学
3月18日(土)	http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/79/			東山キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 7月15日 人材募集情報 (Vol.57 No.8)
- 7月15日 会誌「情報処理」58巻表紙デザイン募集
- 7月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.57 No.8)
- 7月14日 2016年度シニア会員申請のご案内 (締切: 7/31迄)
- 7月8日 論文誌「高度化するサイバー攻撃に対応するコンピュータセキュリティ技術」特集論文募集
- 7月8日 デジタルプラクティスに推薦論文が制度化されました
- 6月30日 [プレスリリース] 認定情報技術者(CITP)企業認定で新たに2社を認定

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000円（税込 21,600円）
賛助会員（企業） 税抜 30,000円（税込 32,400円）
賛助会員以外の企業 税抜 50,000円（税込 54,000円）
*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000円（税込 4,320円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■近畿大学工学部情報学科

募集人員 講師 1名
 専門分野 人工知能
 担当科目 人工知能など
 応募資格 詳細は下記の本学 Web ページをご覧ください
 着任時期 2017年4月1日
 提出書類 詳細は下記の本学 Web ページをご覧ください
 応募締切 2016年8月29日（必着）
 送付先 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1 近畿大学工学部情報学科 笹野 博
 提出書類を厳封の上「教員応募書類（応募学科）」と朱書し簡易書留
 照会先 情報学科 笹野 博 E-mail: sasano@info.kindai.ac.jp Tel(06)6721-2332 (ext.5422) Fax(06)6721-2505
 その他 詳細は本学 Web ページ (<http://www.kindai.ac.jp/about-kindai/employment/index.html>) をご覧ください

■熊本大学大学院先端科学研究部

募集人員 准教授 1名
 所属 環境科学部門
 専門分野 知能情報工学分野（オートモーティブなどの環境適応分野や障がい者支援などの介護福祉分野への応用を可能にする画像情報処理、音情報処理、人工知能に関する分野）
 担当科目 画像・音響工学の基礎と応用に関する大学院・学部科目
 応募資格 *博士あるいはPh.D.の学位を有する方、*知能情報工学分野における教育と研究に対して十分な能力と熱意があり、国際的ならびに社会的な教育研究活動に積極的である方、*外部資金の獲得の実績があり、今後も継続して研究資金を獲得できる方、*英語でのコミュニケーションと英語による指導や講義ができる方、*外国人の場合には、学内外における諸業務の遂行が可能な日本語能力を有する方
 着任時期 2017年4月1日
 提出書類 (1)履歴書（市販のもので可。連絡先欄にはE-mailアドレスも記入すること。なお、男女を問わず、出産、育児、介護に専念（あるいは従事）した期間について考慮することを希望される場合は、付記してください）、(2)研究略歴および業績リスト（レフリー付き専門誌論文、レフリー付き国際会議論文、講演発表、著書、教育歴、取得外部研究費（科学研究費、産学連携共同研究費、各種助成金など）、特許取得、その他に分類し、共著者等はすべて記入のこと）、(3)主要論文別刷（10編まで、コピー可）、(4)教育に対する抱負（A4用紙2000字程度）、(5)研究に対する抱負（A4用紙2000字程度）、(6)所見を求め得る方2名の氏名・所属・連絡先
 応募締切 2016年9月9日（必着）
 送付先 〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1 熊本大学教育研究支援部 自然科学系事務課 人事担当
 「先端科学研究部環境科学部門知能情報工学分野 教員（准教授）応募書類」と朱書
 照会先 大学院先端科学研究部 松永信智 E-mail: matunaga@cs.kumamoto-u.ac.jp Tel(096)342-3639
 その他 (1)応募書類に含まれる個人情報、国立大学法人熊本大学の定めに従い、本人事選考にのみ使用し、ほかの目的には一切使用しません。なお、応募書類および提出物は返却いたしません、(2)熊本大学は、男女共同参画を推進しています。男女共同参画社会基本法に則り、適正に選考します、(3)詳細は大学 Web ページ (<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou>) をご参照ください

■東京理科大学工学部電気電子情報工学科

募集人員 嘱託助教 3名(任期:5年)
 専門分野 情報・通信・コンピュータ分野(光通信システム・光エレクトロニクス)またはエネルギー・制御・環境分野(宇宙システム・衛星姿勢軌道制御・電力系統・分散型電源)
 応募資格 博士の学位を取得,または着任時までに取得見込みで,電気系基礎科目の演習と学生実験を担当できる方
 着任時期 2017年4月1日
 提出書類 履歴書,研究業績リスト,主要論文別刷(数編),着任後の教育と研究に対する抱負(A4用紙2枚程度),連絡先(住所,電話・Fax番号,E-mailアドレス等),応募者を照会可能な方2名の氏名と連絡先
 詳細はWebページ(http://www.tus.ac.jp/boshuu/pdf/koubo20160912_riko_ele.pdf)をご覧ください
 応募締切 2016年9月12日(必着)
 送付先 〒278-8510 千葉県野田市山崎2641 東京理科大学工学部電気電子情報工学科 事務室
 照会先 電気電子情報工学科 主任 木村真一 E-mail: koubo-2016@ee.noda.tus.ac.jp Tel(04)7124-1501 (ext.3705)

■東邦大学理学部情報科学科

募集人員 講師,准教授または教授 計2名(常勤・任期なし)
 専門分野 (1)数学教育分野(1名),(2)知能情報分野(1名)
 担当科目 (1)情報技術を利用した数学教育関係科目および数学教員免許取得のために必要とされる数学専門科目.できれば,数学教科教育に関する教職専門科目
 (2)コンピュータアーキテクチャ,オペレーティングシステム,ソフトウェア工学,自然言語処理のうち複数科目
 (1),(2)共に基礎的な数理系科目および基礎的な情報系科目,学部生の実験・実習科目も担当できること
 応募資格 博士の学位を有し,大学院の教育・研究担当可能な方
 着任時期 2017年4月1日
 提出書類 1)履歴書,2)学位記のコピー,3)業績リスト,4)主要原著論文別刷(5編程度),5)教育内容書,6)研究概要書,7)研究計画書,8)応募者について照会できる方2名の氏名と連絡先(E-mailアドレスを含む)
 応募締切 2016年9月16日(必着)
 送付先/照会先 〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1 東邦大学理学部情報科学科 主任 松島俊明
 E-mail: matusima@is.sci.toho-u.ac.jp Tel(047)472-8237
 その他 詳細はWebページ(<http://www.sci.toho-u.ac.jp/is/>)内の「教員・研究員の公募情報」をご参照ください

■東北工業大学工学部情報通信工学科

募集人員 専任講師または准教授 1名(任期なし)
 専門分野 データマイニング,ビッグデータ分析,データベース,人工知能,ディープラーニング
 担当科目 データベース,統計解析,電気数学,制御工学,情報理論,工学実験,卒業研修等
 応募資格 博士の学位を有する方,もしくは着任までに取得見込みの方で,学生の教育に熱意のある方
 着任時期 2017年4月1日
 提出書類 履歴書(学歴,職歴,教育歴,所属学会名,学会活動,社会活動等),研究業績リスト(博士論文,学会誌論文,国際会議論文,解説論文,著書,特許などに分けて記載),主要論文別刷(3編,コピー可),東北工業大学での学生の教育に対する抱負(1000字程度),応募者について所見をいただける方2名の連絡先(E-mailアドレス,電話番号)
 応募締切 2016年9月16日(必着)
 送付先/照会先 〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1 東北工業大学工学部情報通信工学科 学科長 村岡一信
 E-mail: muraoka@tohtech.ac.jp Tel(022)305-3419 Fax(022)305-3402
 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *提出書類は返却いたしません
 その他 選考方法:書類選考の後,面接選考(プレゼンテーションを含む)(交通費は応募者の負担になります)
 詳細については本学Webページ(<http://www.tohtech.ac.jp/corporation/recruit/index.html>)をご覧ください

■明治大学理工学部情報科学科

募集人員 准教授または専任講師 1名(常勤・任期なし)
 専門分野 ソフトウェア
 担当科目 ソフトウェア工学, Webプログラミング, ソフトウェア系の実習, ゼミ, 卒論, その他情報科学に関する科目
 応募資格 博士の学位を有すること, 当該分野において研究実績があること
 着任時期 2017年4月1日
 提出書類 履歴書, 業績リスト, 主要論文別刷, 大学教育に対する考え方, 研究概要と今後の教育・研究に対する抱負, 健康診断書, 応募者の所見を求め得る方2名の連絡先
 応募締切 2016年9月20日(必着)
 送付先/照会先 〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1 明治大学理工学部情報科学科
 学科長 井口幸洋 E-mail: iguchi@cs.meiji.ac.jp
 「ソフトウェア分野教員公募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却しません
 その他 詳細は, Webページ (<http://www.meiji.ac.jp/sst/recruit/index.html>) を参照ください

■岐阜大学工学部電気電子・情報工学科(情報コース)

募集人員 准教授 1名
 専門分野 知能情報学, メディア情報学, 音声や画像などの実世界の複数の情報を統合し機械学習により認識する技術に関する研究分野
 担当科目 教養科目, 情報コースの専門科目および基礎科目, 大学院の知能情報学に関する科目
 応募資格 (1)博士の学位を有し, 大学院博士後期課程の講義を担当できる方, (2)専門分野において優れた研究業績を有する方, (3)教育ならびに研究に熱意を有するとともに国際的活動に積極的な方
 着任時期 2017年4月1日
 応募締切 2016年9月30日(必着)
 照会先 電気電子・情報工学科 情報コース長 速水 悟 E-mail: hayamizu@gifu-u.ac.jp Tel(058)293-2710
 その他 詳細はWebページ (<https://jrecin.jst.go.jp/>) を参照ください

■佐世保工業高等専門学校電子制御工学科

募集人員 助教または講師 1名
 専門分野 情報工学分野(セキュリティ, ネットワーク, データベース, ソフトウェア・ハードウェア工学関連分野を含む)
 担当科目 情報工学系(たとえば, セキュリティ, ネットワーク, データベース, ソフトウェア・ハードウェア工学等)の講義・演習および実験・実習科目および卒業研究
 応募資格 次のいずれにも該当する方
 (1)高等専門学校における教育(学級担任, クラブ顧問, 学寮での学生指導を含む)および, 研究に理解と熱意を持って取り組むことができる, 心身ともに健康な方, (2)博士を取得, または, 数年で博士の取得の見込みがある方で, 専門分野がセキュリティ, ネットワーク, データベース, ソフトウェア・ハードウェア工学などの情報工学分野
 着任時期 2017年4月1日
 応募締切 2016年9月30日(必着)
 送付先 〒857-1193 長崎県佐世保市沖新町1-1 佐世保工業高等専門学校 総務課人事係
 照会先 電子制御工学科 学科長 兼田一幸 E-mail: seigyo@sasebo.ac.jp Tel(0956)34-8481
 その他 詳細は, 本校Webページ (<http://www.sasebo.ac.jp/snct/employment>) を参照ください

■諏訪東京理科大学工学部コンピュータメディア工学科

募集人員 嘱託助教 1名(任期:上限5年)
 専門分野 人工知能(機械学習)およびその工学的応用(知能ロボット, 自動運転, 画像解析, ヒューマンインタフェースなど)
 担当予定科目 人工知能入門(予定), プログラミング技術入門, コンピュータメディア工学実験1
 応募資格 博士(工学)の学位を有する方(または着任日までに取得見込みの方), 学部と大学院の教育ならびに研究に熱意を持って取り組んでいただける方, 本学の地域連携にかかわる活動に積極的に取り組んでいただける方
 着任時期 2017年4月1日
 提出書類 (1)履歴書, (2)教育・研究等業績書(業績リスト), (3)主要論文別刷(3編以内), (4)研究概要^{*}, (5)研究計画^{*}, (6)教育経験および教育に対する抱負^{*}, (7)応募者について照会可能な方2名の氏名と連絡先, (8)学位記のコピー ※いずれも1000字以内
 応募締切 2016年9月30日(必着)
 送付先/照会先 〒391-0292 長野県茅野市豊平5000-1 諏訪東京理科大学工学部コンピュータメディア工学科 主任 平田幸広
 E-mail: yhirata@rs.suwa.tus.ac.jp
 「工学部コンピュータメディア工学科教員応募書類在中」と朱書き書留等 *応募書類は返却しません
 その他 選考方法:(1)書類審査, (2)面接(書類審査通過者のみ)
 面接日時については個別にお知らせしますが, 交通費は応募者の負担となります
 本学は, 公立化に向けて地元自治体と協議中です。詳細は本学Webページに掲載しております
 東京理科大学では, 女性人財を積極的に育成, 活用し, 活躍を支援する大学となることを目標としています。女性の積極的な応募を期待します

■広島工業大学情報学部情報工学科

募集人員 教授または准教授 1名
 専門分野 情報ネットワークシステム, 情報処理技術に関する分野
 担当科目 ネットワークテクノロジー基礎, 情報工学基礎実験, ほかにネットワークに関する科目
 応募資格 本学の教育方針を理解し, 教育および研究に熱意のある方。博士の学位を有する方。上記分野における研究業績があり, 学協会等でも活動され, 社会的貢献をされている方。大学院(博士前期課程)の授業および研究指導を担当可能な方
 着任時期 2017年4月1日
 提出書類 履歴書, 推薦書1通または応募者の業績について問合せのできる方2名の氏名, 所属, 連絡先, E-mailアドレス, 教育・研究業績リスト(論文, 著書, 報告書, 特許, 受賞, 現在の教育・研究あるいは業務の内容, など), 主要論文別刷(7編以内, コピー可), 着任後の教育・研究に関する抱負(1000字程度)
 応募締切 2016年9月30日(必着)
 照会先 総務部 中畑佳二 E-mail: y.nakahata.pg@it-hiroshima.ac.jp Tel(082)921-3123
 その他 書類の提出方法および注意事項等について, 本学園Webページ(<http://www.tsuru-gakuen.ac.jp>)で必ずご確認ください

■明星大学情報学部情報学科

募集人員 特任教授, 特任准教授または特任講師 1名(任期:1年。審査の上再任あり。ただし, 65歳を超えての更新はない。特任教員は, 主として教育に従事し, 教学にかかわる管理・運営に関する業務は免除されます)
 専門分野 信号処理・画像処理, あるいは情報セキュリティ
 担当科目 上記分野に限らず, 情報技術に関連する新規分野を開拓する意欲のある方も求めます
 画像処理・デジタル信号処理, あるいはネットワークセキュリティ・コンピュータセキュリティ, あるいはネットワークコンピュータサイエンスなど
 応募資格 専門分野における豊富な実務経験と知識を教育活動に活かし, 学部学生の基礎から専門までの幅広い授業および学生指導に熱意を持ってあたれること, キャリア教育やジェネリックスキルの醸成に関する教育が可能なこと, 学部における基礎教育(数学, プログラミング, 実験等含む)の担当が可能なこと
 着任時期 2017年4月1日
 提出書類 履歴書および教育研究業績書(本学指定のもの)1部, 主要著書・論文(3点以内, コピー可)または職務経歴書, 担当授業予定科目の中から1科目についての講義計画1部, 本学での教育に対する抱負(1200字程度, PBLの実践など特別な取り組みの実績があれば書いてください), 参考意見を聞くことができる方2名の氏名, 所属, 連絡先
 詳細はWebページ(<http://www.meisei-u.ac.jp/recruit/>)をご覧ください
 応募締切 2016年9月30日(必着)
 送付先 〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1 明星大学情報学部 学部長 篠原 聡
 「情報学部教員応募書類在中」と朱書き書留 *応募書類は, 著書以外返却いたしません
 照会先 明星大学情報学部支援室 E-mail: is-info@gad.meisei-u.ac.jp Tel(042)591-6239 Fax(042)591-5452
 その他 応募書類は, 選考の進行状況に応じて追加していただく場合があります。2次選考では模擬授業をしていただくことがあります
 詳細な応募要項はWebページ(<http://www.meisei-u.ac.jp/recruit/>)をご参照ください。本学指定の用紙は, 上記よりダウンロードの上ご使用ください
 「JRECIN研究者人材データベース」(<http://jrecin.jst.go.jp/>)にも掲載しております

■東京都立産業技術高等専門学校ものづくり工学科

募集人員	助教 1名
専門分野	情報セキュリティ・ネットワーク
担当科目	情報セキュリティに関連する科目および実習、工学実験実習、ゼミナール、卒業研究、専攻科情報工学コースの科目および特別研究
応募資格	博士の学位を有するか取得見込みの方、もしくはこれに相当する研究業績の認められる方
着任時期	2017年4月1日
提出書類	所定様式および記入要領はWebページ (http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/cit.html) からダウンロードすることが可能です
応募締切	2016年10月4日(必着)
照会先	①公募全般：公立大学法人首都大学東京総務部人事課人事制度係 E-mail: kyoinsaiyo@jmj.tmu.ac.jp ②専門分野：高専品川キャンパス教務主事 柴崎年彦 E-mail: shiba@metro-cit.ac.jp Tel(03)3471-6331

■秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科

募集人員	教授または准教授 1名(5年の任期制；再任回数に制限はありません)
所属	情報システム講座
専門分野	情報システム基盤分野。大規模で複雑な情報システムの基盤となるソフトウェア工学、システムソフトウェア、組込みソフトウェア、高性能計算、シミュレーション工学、プログラミング方法論、ビッグデータ活用等の分野に関する良好な研究経歴を有し、農業・交通・健康増進・エネルギー等の分野への応用を推進し、情報工学一般に関する教育と研究、地域貢献に意欲を持って取り組む方を求めます
担当科目	ソフトウェア工学、オペレーティングシステム、計算機アーキテクチャ、システム科学、プログラミング、論理回路学、実習、演習、セミナー、その他卒業研究、修士論文指導など
応募資格	(1)博士の学位を有し研究上の業績を有すること、またはそれと同等の能力を有すること、(2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること、(3)国籍は問わないが、日本語が堪能であること、(4)採用が決定した場合、確実に着任できること
着任時期	2017年4月1日
提出書類	(1)履歴書、(2)研究業績書、(3)主要論文(5編、コピー可)、(4)これまでの研究、教育および社会活動(地域貢献を含む)の概要 [*] 、(5)教育に対する抱負 [*] 、(6)研究・地域貢献に対する抱負 [*] 、(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先、(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況のリスト ※いずれも1000字程度
応募締切	2016年10月31日(必着)
送付先	〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老の口84-4 秋田県立大学システム科学技術学部 本荘キャンパス 教員選考委員長 松本真一 「電子情報システム学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却しません
照会先	電子情報システム学科長 磯田陽次 E-mail: isota@akita-pu.ac.jp Tel(0184)27-2941
その他	ご応募の際は必ず詳細をWebページ (http://www.akita-pu.ac.jp/gaiyo/saiyo.htm) でご確認ください

■静岡大学学術院工学領域数理システム工学系列

募集人員	助教 1名(任期：5年(学内審査により5年後に任期なしポストへ移行することが可能))
所属	工学部数理システム工学科・総合科学技術研究科工学専攻数理システム工学コースの教育・研究担当
専門分野	情報工学(メディア・コミュニケーションシステムの設計・開発にかかわる研究分野)
担当科目	システム工学応用実習(Problem Based Learning 形式の実習)、プログラミング基礎、プログラミング応用、コンピュータ入門、創造教育実習(「ものづくり」導入教育)などからいくつかの科目
応募資格	・博士の学位(着任時までに博士号取得も含む)を有すること、・メディア・コミュニケーションシステムに関する研究・開発経験があり、当該分野に関する教育・研究を担当できること、・産業応用や地域社会貢献にも意欲があることが望ましい
着任時期	2017年3月1日以降できるだけ早い時期
提出書類	1.履歴書(E-mailアドレス、学歴、職歴を明記)、2.業績リスト(査読付き原著論文(論文掲載誌のインパクトファクタおよびリンク(Q1～Q4)を明記)、著書、総説、国際学会での発表(可能であれば採択率を明記)、科研費を含む外部資金獲得状況、特許、所属学会での活動状況、その他の項目に分類)、3.主要論文別刷(3編、コピー可、各論文について約500字の概要)、4.これまでの研究および教育活動の概要(A4用紙2枚)、5.着任後の研究と教育に対する抱負(A4用紙2枚)、6.推薦書(2通)もしくは応募者についてご意見をいただける方(2名)の氏名とその連絡先
応募締切	2016年10月31日(必着)
送付先/照会先	〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1 静岡大学学術院工学領域数理システム工学系列 横沢正幸 E-mail: yokosawa.masayuki@shizuoka.ac.jp Tel(053)478-1218 「助教公募」と朱書き書留等の配達記録が確認できる方法にて送付 上記1から5については、PDFファイルとしてCD-R等に保存したものを添付のこと
その他	選考方法：選考会議において書類選考の上、面接を行います。ただし、面接にともなう旅費・滞在費は自己負担とします ・採用にあたっては、業績および人物評価において同等と認められた場合には、女性、外国人(ただし日本語能力試験N1相当の日本語能力を有すること)、障がい者、実務経験を有した方(本学科はJABEE認定を目指すため)等を優先します ・応募書類に含まれる個人情報を選考以外の目的で利用することはありません。応募書類は、採用決定後、当方にて破棄し返却しません

■東洋大学情報連携学部情報連携学科 (2017年度開設)

募集人員 助教 5名
 専門分野 情報学およびその応用分野
 着任時期 2017年4月1日
 応募締切 2016年10月31日(必着)
 照会先 東洋大学経営企画本部事務室 E-mai: ml-iniad-em@toyo.jp
 その他 詳細はWebページ (https://j-sys.toyo.ac.jp/pms/app/saiy_f1550)を参照ください

■福岡工業大学情報工学部情報工学科

募集人員 准教授または助教 1名
 専門分野 情報工学(離散構造)または関連分野
 着任時期 2017年4月1日
 応募締切 2016年11月25日(必着)
 照会先 情報工学科長 前田道治 E-mail: maeda@fit.ac.jp Tel(092)606-4905
 その他 詳細はWebページ(http://www.fit.ac.jp/daigaku/koubo/kyoin_kobo/index)をご参照ください

会誌「情報処理」58巻表紙デザイン募集!!

会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

- 応募条件
- ・表紙のデザイン(裏表紙, 背表紙は含まず)。
 - ・A4判(天地 297mm × 左右 210mm) 4色フルカラー。
 - ・描画手法は問いません。
 - ・「情報処理」の題字, 巻号, 法定文字, 記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
 - ・簡単なデザインコンセプトを添えてください。
 - ・応募資格は問いません。
 - ・可能でしたら, 毎号どこかの色を変更する, 1つずつ絵の要素が増えていき12号ですべて揃う…など, 号によって少しずつ違ったデザインになるような工夫をお願いいたします(12号分のデザイン案, もしくはテキストでの説明も可)。

- 注意事項
- ・応募作品は返却いたしません。
 - ・採用作品の掲載にあたって, 学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
 - ・採用作品の著作権(著作権法第27条, 第28条の権利を含む)は情報処理学会に帰属します。
 - ・応募作品は未発表のものに限ります(応募作品の知的財産権について, 第三者との間に紛争が生じた場合は, 作者がその責を負う)。
 - ・応募される場合は, 上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 2016年11月4日(金)(必着)
 結果通知 2016年11月下旬
 賞金 採用者1名に4万円

送付先/照会先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375



FIT2016 第 15 回情報科学技術フォーラム開催の御案内

FIT2016Web サイト : <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2016/index.html>

主催 : 電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ/ヒューマンコミュニケーショングループ、情報処理学会
協賛 : 国立大学法人 富山大学

電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ)と情報処理学会とは2002年から合同で毎年秋季にFIT (Forum on Information Technology) を開催しており、来る2016年9月に第15回目を富山大学で開催致します。開催当日も聴講参加受付を致しますので、皆様、どうぞ奮って御参加下さい。

会期 : 2016年9月7日(水)~9日(金)
会場 : 富山大学 五福キャンパス (富山市五福3190)
交通 : <市内電車>

JR富山駅前「富山駅」停留所より約15分「大学前」停留所下車 徒歩約5分

※お車(自家用車)での御来場は御遠慮下さい。また、キャンパス近隣への駐車も御遠慮下さい。車イス等で駐車場が必要な場合は事前にお知らせ下さい。

当日受付場所 : 黒田講堂 エントランスホール
当日受付時間 : 8:30-16:30 (9日のみ15:00まで)

■聴講参加費(税込)

参加区分	参加費
正会員	12,000円(プログラム・参加章・DVD-ROM)
非会員	24,000円(プログラム・参加章・DVD-ROM)
学生	無料(プログラム・参加章)

※会員、非会員、学生の参加区分の区別は以下のとおりです。

会員 : 電子情報通信学会、情報処理学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI)または電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(IEIE、APSIPA、ECIT、IEEE/ComSoc、KICS、VDE/ITG、KIEES、CIC、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S、IEEE/CS、KIISE)の個人会員に限ります。

非会員 : 上記の学会会員以外で学生以外の方。

学生 : 会員/非会員を問わず無料(DVD-ROMは付きません)。

社会人学生の方も、学生証を総受付で提示頂ければ無料です。

■開催イベント企画[予定]

今回のFITでは以下の講演会、パネル討論等のイベント開催を予定しております(詳細は逐次FIT2016Webサイトに掲載致します)。

◎船井業績賞受賞記念講演

8日14:00-15:15 第1イベント会場(黒田講堂 ホール)
「初音ミクは、なぜ世界で支持されるのか」

伊藤博之(クリプトン・フューチャー・メディア)

◎FIT学術表彰式

8日13:00-13:50 第1イベント会場(黒田講堂 ホール)

第1イベント会場(黒田講堂 ホール)

8日 13:00-13:50 FIT学術表彰式
14:00-15:15 船井業績賞受賞記念講演

第2イベント会場(共通教育棟A棟 A21)

7日 9:30-12:00 8K試験放送開始!実用化が進むMMTの最新状況と展望
13:00-15:00 ここから始める情報処理~画像、音声、テキスト、検索、学習、一気にまとめてチュートリアル~
15:30-17:30 劣線形ビッグデータ時代を切り開くキーワード
8日 9:30-12:00 実世界でのビッグデータ分析・実データ活用の実例
15:30-17:30 ダイバーシティ社会に向けたワークプレースを考える
9日 9:30-12:00 助教が吼える! 各界の若手研究者大集合
13:00-16:00 Python によるデータ分析 - 分析の基本とデータ分析コンペでの実践

第3イベント会場(共通教育棟A棟 A23)

7日 15:30-17:30 FIT2016 BUSINESS TREND これが情報技術×ビジネスの最先端だ!
8日 9:30-12:00 Real Estate Tech:不動産×IT ~ITが拓く不動産の未来~
9日 9:30-12:00 小直径グラフの追究 ~グラフ理論の未解決問題とインターコネクトの未来~
13:00-16:00 ポストムーブコンピューティングのためシリコン技術

第4イベント会場(共通教育棟C棟 C11)

7日 13:00-17:30 パターン認識・メディア理解の技術が教育・学習支援にどのように活かせるか
8日 15:30-17:30 ソーシャルビッグデータの利活用によるオープンスマートシティの構築

第5イベント会場(共通教育棟B棟 B21)

7日 9:30-12:00 第7回相磯杯 The 2nd RECONF/CPSY/ARC/GI Trax デザインコンペティション 予選
13:00-15:00 第7回相磯杯 The 2nd RECONF/CPSY/ARC/GI Trax デザインコンペティション 本選
15:30-17:30 PoTS映像学事始め 第2章
8日 9:30-12:00 10年後も情報科学技術者であるために
15:30-17:30 未来のICTリーダー育成

■懇親会

開催日時 : 9月8日(木) 18:00~20:00

会場 : 大学食堂

参加費 : 社会人 5,000円、学生 2,000円、
一般講演座長または査読者 3,000円

■冊子講演論文集・DVD-ROM販売価格(税込)

品物	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	60,000円	60,000円
講演論文集各分冊	13,000円	16,000円
DVD-ROM	9,000円	56,000円

※セットには、DVD-ROM、セットカバーが付きまます。

※DVD-ROM学割会場販売価格4,000円

※会期中も講演論文集、DVD-ROMの販売を致しますが残部のある限りとなりますのであらかじめ御承下さい。

■講演論文集の内容(分野)

第1分冊 : モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ
第2分冊 : データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学
第3分冊 : 画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育工学・福祉工学・マルチメディア応用
第4分冊 : ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム
DVD-ROM : 上記全論文とプログラムを収録
(著者、所属、キーワードによる索引付き)
※FIT 査読付き論文の採択論文は各投稿分野の論文集分冊へそれぞれ掲載

■次年度のFIT2017開催

2017年9月東京大学にて開催予定

■問い合わせ(FIT2016幹事学会)

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内
一般社団法人電子情報通信学会 大会・研究会部 FIT担当
TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659
E-mail : ieicefit@ieice.org

CONTENTS

Preface

- 822 **Impact of GPS Data**
Toshiaki HIROSE (Toshiba Corp.)

Special Article

- 824 **Impact and Potential of Pokémon GO**
Masahiko TSUKAMOTO (Kobe Univ.)
- 826 **Launching 4K・8K Test Broadcasting via Satellite**
Shuichi AOKI (Science and Technology Research Labs, NHK)

Special Features

Fintech

- 856 **0. Foreword**
Ikuo TAKAHASHI (Komazawa Legal Chambers)
- 858 **1. Reasons and Future of FinTech and Blockchain Boom**
Masanori KUSUNOKI (International Univ. of Japan)
- 864 **2. Using Blockchains for Fairness and Transparency**
Kazue SAKO (NEC Security Research Labs.)
- 870 **3. Business Model of Fintech**
Shinichi FUJIKAWA (BASE, Inc. / Keio Univ.)
- 877 **4. Law and Policy on Fintech**
Ikuo TAKAHASHI (Komazawa Legal Chambers)

The Era of Personalized Learning via Application is Coming!

- 884 **0. Foreword**
Eriko UEMATSU (Musashino Gakuin Univ.)
- 886 **1. Educational Data and Adaptive Learning - Reducing Miststeps in Learning and Optimizing the Learning Process -**
Seigen HAGIWARA (Recruit Marketing Partners Co., Ltd.)
- 890 **2. What is the Online Learning Service, "StudySapuri"? - The Overview and Features -**
Rieko KOMIYAMA (Ricruit Institute for Next Generation Education)
- 894 **3. Startup's Approach to Creating Education App for Kids - What I Saw, Created and Felt about Creating the Future IT Education -**
Shane BELTON (Fantamstick, Ltd.)
- 898 **4. ICT in Education from a Parent's Eye**
Yuko MURAKAMI (Tohoku Univ.)

Reports

- 830 **22th-generation Mitou Super Creators**
Ikuo TAKEUCHI (IPA, Senior Project Manager of Mitou Program)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 829 **An Unfinished Dream**
Katsushi IKEUCHI (Microsoft Research Asia)

Series : Welcome to the Programming World

- 842 **Introductory Programming Guide (Second Part) - Modifying Bit-kun's Twitter Page -**
Kazunori SAKAMOTO (National Institute of Informatics)
- 849 **Learn to Program with Racket's Game Programming**
Kanae TSUSHIMA (National Institute of Informatics)

"Peta-gogy" for Future

- 915 **Informatics Education - Retrospect and Expectation**
Satoru KAWAI (The Open Univ. of Japan)
- 916 **A Flipped Classroom for Computer Programming Education**
Kumiko TAKAI and Kozo MIZUTANI (Teikyo Univ.)
- 920 **Toward Computer - Assisted and Automated Marking of Descriptive Answers**
Masaki NAKAGAWA and Yuki HIRAI (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology)

- 883 **The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine**
- 904 **Topics**
- 912 **IPSJ Activity Report**
- 926 **Biblio Talk**
- 928 **Conference Report**

<http://www.ipsj.or.jp/dp/info/recommended.html>

《デジタルプラクティスへの推薦論文の制度化》

各研究会、支部、イベントにおいて発表された論文の中で、主催者またはプログラム委員長が優れたプラクティス（実践）を含むと認定した論文を「推薦論文」と呼び、デジタルプラクティスへの掲載の推薦ができるようになりました。

また、推薦論文には、研究会／支部長／プログラム委員長からの推薦文が添えられます。

ご意見をお寄せください！

【9月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員） (g) その他…………… 4- []
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員） (j) その他…………… 5- []
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上…………… 6- []
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性…………… 7- []
- (8) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ…………… 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌およびWeb）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない…………… 9- []
- (10) 今月号（2016年9月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：GPS データの効果…………… 10-1- []
- 特別解説：ポケモンGOの衝撃と可能性…………… 10-2- []
- 特別解説：4K・8K 衛星放送 試験放送開始…………… 10-3- []
- IT好き放題：見果てぬ夢…………… 10-4- []
- 未踏の第22期スーパークリエータたち…………… 10-5- []
- あなたの知らないプログラミングの世界：まねておぼえるプログラミングのいろは（後編）…………… 10-6- []
- あなたの知らないプログラミングの世界：ゲームを通してプログラミングの基礎を学ぼう（前編）…………… 10-7- []
- 特集：フィンテック
1. なぜいまフィンテックとブロックチェーンが注目され、これからどう社会を動かすのか…………… 10-8- []
2. 透明性と公平性を実現するブロックチェーン技術…………… 10-9- []
3. フィンテックスタートアップのビジネスモデル…………… 10-10- []
4. フィンテックの法と制度…………… 10-11- []
- 会誌編集委員会女子部…………… 10-12- []
- 小特集：ここまで来た！ アプリケーションによる個人学習
1. 学習データとアダプティブラーニング…………… 10-13- []
2. スタディサプリとは何か、その概要と特徴…………… 10-14- []
3. ベンチャーが作る学習アプリケーション…………… 10-15- []
4. 保護者視点のICT利用教育…………… 10-16- []
- トピックス：研究会推薦博士論文速報…………… 10-17- []
- 学会活動報告：へんな論文…………… 10-18- []
- べた語義：情報教育への新しい期待…………… 10-19- []
- べた語義：プログラミング教育における反転授業の試み…………… 10-20- []
- べた語義：記述式解答の採点支援・自動採点に向けて…………… 10-21- []
- ビブリオ・トーク：発想法の使い方…………… 10-22- []
- 会議レポート：The International ACM Symposium on High-Performance Parallel and Distributed Computing (HPDC) 実施報告…………… 10-23- []
- 連載漫画：IT日和…………… 10-24- []
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記（10）の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- (11-1) 良かった記事…………… 11-1- []
- (11-2) この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家…………… 11-2- []
- (11-3) 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）…………… 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

[12] 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [12-1] 良くなかった記事 12-1- []
 [12-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
 [12-3] 選んだ理由（下記から，いくつでも選択可） 12-3- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

[13] 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- [13-1] フィンテック：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []
 [13-2] ここまで来た！ アプリケーションによる個人学習：a) 専門家 b) 非専門家 13-2- []

[14] 設問 [10] で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

[15] 会誌に対するご意見や感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会誌配布，会員特典，会費等口座振替，海外からの送金，賛助会員，電子図書館
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，コンピュータ博物館（情報処理技術遺産），著作権
デジタルプラクティス	editdp@ipsj.or.jp		デジタルプラクティス（DP）の編集・査読，DP レポート
図 書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／JIP／トランザクション）の編集・査読
調査研究／国際／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，研究グループ，シンポジウム，国際会議，IFIP 委員会，情報処理教育委員会，ア krediyteshon 対応，認定情報技術者制度
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，プログラミングコンテスト，プログラミング・シンポジウム，協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナー，短期セミナー，IT フォーラム，ソフトウェアアジャパン，その他講習会
■ 管理部門			
総務／庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会，支部，選挙，総務系選奨，関連団体，アドバイザーボード
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，セキュリティ，電子化委員会，電子図書館，IPSJ メールニュース
■ 情報規格調査会			
規格部門	問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html		ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

「フィンテックについて知りたい」。本特集はそんな読者アンケートの声に応えたものです。編集委員会は分野別に5つものWGがあり、たいていのリクエストには応えられますが、このテーマについてはどのWGもなかなか引き受けようとしません。そこで編集長の「応用だよね」との一言で、アプリケーションWGが担当することになりました。うぎゃ。仕方がないので八方探し回って、ようやくアーキテクチャ、セキュリティ、ビジネス、法制度などの分野の著者をそろえました。やれやれと思って各著者に概要を提案してもらおうと、今度は「フィンテック」の捉え方があまりに千差万別。そこでメーリングリストを作り、「フィンテックってなに?」ということを少し意見交換してもらおうところから始めました。

一般にもフィンテックという言葉がかなり幅広い意味で使われていることもあり、あえて統一した定義は作りませんでした。著者

がお互いの考えを知ってから執筆することで、読者にとっても「フィンテック」のさまざまな側面を理解することができる特集になっていけば幸いです。

また巷には、「フィンテック」と銘打った書籍や雑誌がすでに氾濫しています。そうした中で、本会誌の読者の皆さまの関心に応えるものになっていることを願います。

さてフィンテックといえば、ビットコインに使われたブロックチェーン技術も注目されています。ブロックチェーンは今やフィンテックの粋をはるかに超えて、情報処理のあらゆる分野に応用を広げようとしています。このブロックチェーンについては本特集2章でも詳しく解説しましたが、本誌12月号にも特集が掲載される予定ですのでどうぞ注目ください。

(金子 格/本特集エディタ)

小特集「アプリケーションによる個人学習」は、2016年3月に開催されたある研究会の内容が基になっている(本小特集の執筆者のうち3名がその会における話者であり、担当エディタの1人が討論者であった)。「ありとあらゆる学習体験を1つのチャネルから供給し、個別化・双方向化により効果的な学習のためのチューニングを行う」という環境は従来の学習ツール研究者の垂涎的であった。研究会でうかがった話の中では、タブレット・スマートフォンが共通の土台となり、その上の学習アプリケーションが普及することにより、それがすでに現実のものとなっていることに衝撃を受けた。また、学習アプリケーションの提供側が基本学習の部分が無償とすることで、経済的に塾など学校以外の

教育投資が厳しい家庭、親が勉強の面倒を見られない家庭に対する救済手段となり得る点にも感銘を受けた。これらのことを会員の皆様にも紹介したいと本小特集を企画したわけだが、学習アプリケーション提供サイドからの解説だけでは一面的なものとなるという点に苦慮した。幸い、保護者の視点・社会学者の視点からの検討を行った解説を含めることができた結果、複合的な観点を備えた有益な小特集とすることができたものと思う。会員の皆様に、子どもの学習を取り巻く環境がどう進化してきているかに関心を持っていただくきっかけとなれば幸いである。

(久野 靖/本小特集エディタ)

次号(10月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」人工知能学会共同企画—人工知能とは何か?

対談：情報処理と人工知能／プログラミングパラダイムとしての深層学習／対話システム研究の動向—対話システムは次世代のインタフェースになるか—／機械の中の道徳／汎用人工知能の現状と展望／シンギュラリティ・プライバシー／深層学習から汎用AIへの進化に向けて／Deep Evolution／対話型ロボットの研究／コグニティブ・コンピューティング／人のためのAI—学問・技術は人のために—／脳計測によるユーザ認知状態のモデル化／脳機能アーキテクチャ／AIと倫理

「小特集」汎光線時空間映像学

汎光線時空間(PoTS)映像学の提案／3次元ビデオ技術のその後の展開と現状／光線情報を用いた3次元映像情報の取得から表示まで—光線空間法とLight Field Rendering—／光線計測に基づくコンピュータショナルフォトグラフィ／PoTS映像学の活用—自由視点映像による次世代スポーツ中継—／PoTS映像学の活用：文化財の保存と展示／汎光線空間技術の応用と期待

学会活動報告：オープンサービスイノベーション活用の秘訣は何か?—第78回全国大会企画セッション デジタルプラクティスライブ報告—
情報技術の国際標準化と日本の対応—2015年度の情報規格調査会の活動—

教育コーナー：ぺた語義

連載：IT日和／あなたの知らないプログラミングの世界～プログラミングがこんなに面白って知っていましたか?～／
会誌編集委員会女子部／女子部が行く!／ビブリオ・トーク

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT好き放題

会議レポート：DAC2016参加報告—半導体開発技術に関する世界最大の国際会議・展示会—

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	190,000円 (税込205,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	165,000円 (税込178,200円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		
同封 (A判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」57巻9号 掲載広告(五十音順)

- インタフェース 表2 富士通 表4
 とめ研究所 表2対向上 三菱電機 表3

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

Orchestrating a brighter world

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

三菱電機 (株)

CyberAgent.

(株) サイバーエージェント

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

RECRUIT

(株) リクルートホールディングス

Google

グーグル (株)

docomo

(株) NTT ドコモ

TOSHIBA

(株) 東芝

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

NTT DATA

NTT データ (株)

OKI

沖電気工業 (株)

GREE

GREE (株)

楽天

楽天 (株)

JISA

情報サービス産業協会

NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic

パナソニック (株)

FORUM 8
フォーラムエイト

(株) フォーラムエイト